

HTML基礎

HTMLの基礎知識

そもそも、HTMLとは？

HMTLとは、"Hyper Text Markup Language"（ハイパーテキスト・マークアップ・ランゲージ）の略で、Webページを作成する為に使用する基本的なマークアップ言語のひとつです。

どうやってWebページを作っているのか？

ブラウザから任意のWebサイトを開き、右クリックメニューから「ページのソースを表示」(ブラウザによって表現が異なります)を選択します。

すると、などから始まる文字列情報が表示されます。これがHTMLのソースコードです。

JavaScriptフレームワークやJSP(Java)やASP.NET(C#)なども、最終的にはこのHTMLコードを作成することでブラウザ上で見れるようになります。

HTMLファイルを作ってみよう

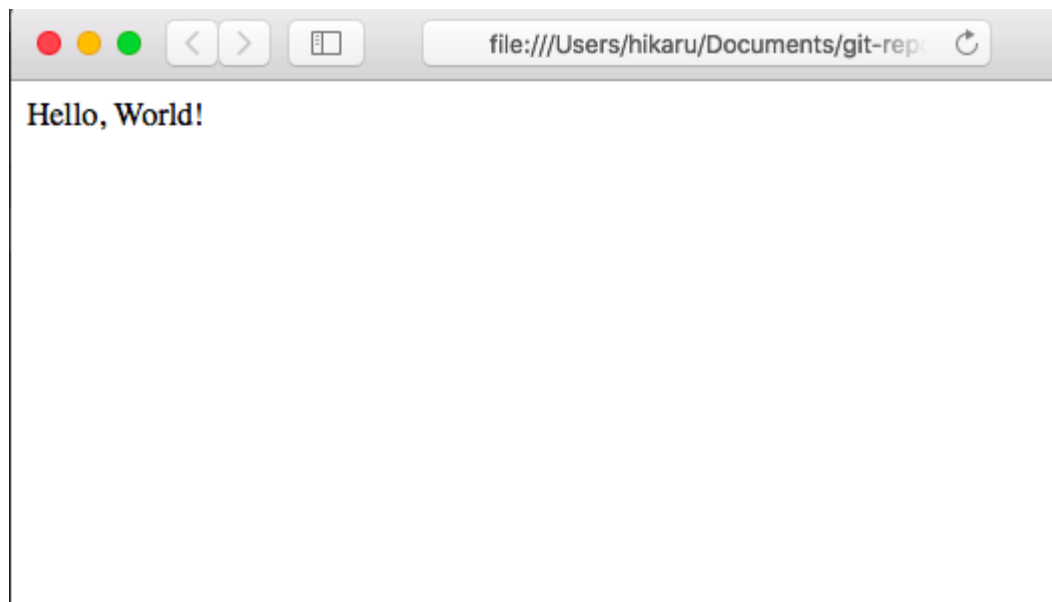
文字を表示してみよう

実際に動いているWebページのソースコードは色々と書かれていましたが、基本的にはテキストデータです。

試しに、下記のようなファイル「hello.html」を作成してみましょう。

```
Hello, World!
```

さて、このhello.htmlファイルをダブルクリックして見ましょう。下記のような画面が表示されましたか？ダブルクリックで起動しない場合、ファイルをブラウザにドラッグしてみましょう。



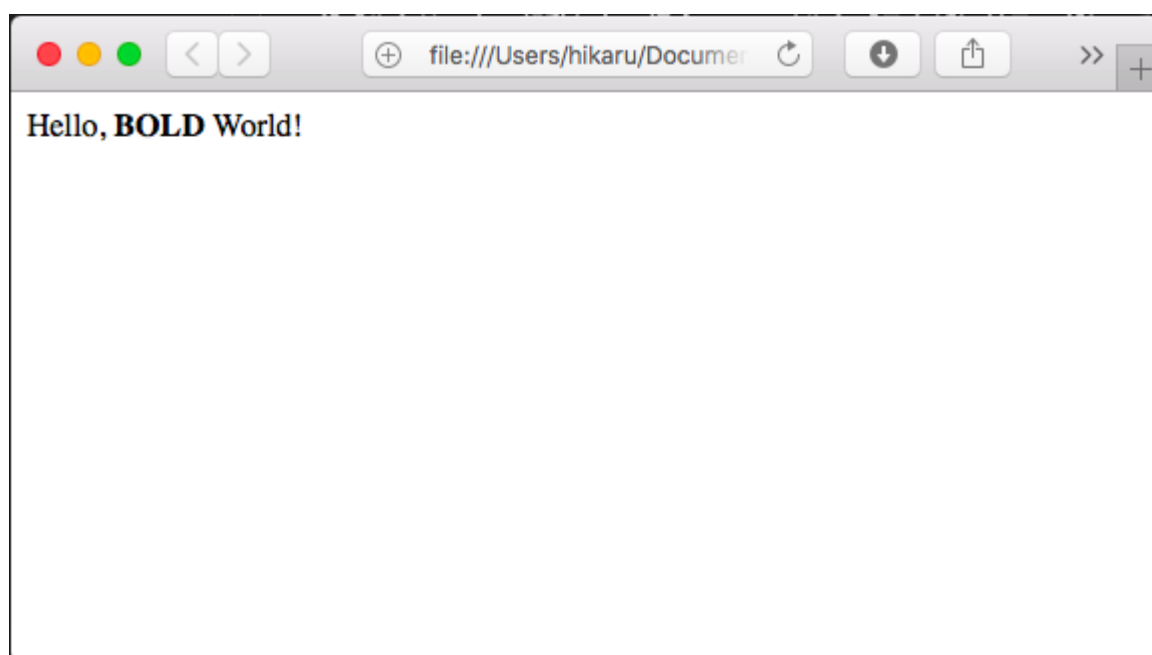
さて、ここまでできたらHTMLの基礎ができました。

初めてのマークアップ

文字を表示することはできましたが、世の中のWebサイトはもっと華やかだったり別なページに移動できたりしますよね。これを実現する為に利用するのが「マークアップ」です。次は、マークアップによる装飾を行います。

以下のようなコードを書いて、同様にブラウザで実行してみましょう。

```
Hello, <b>BOLD</b> World!
```



「BOLD」の文字だけが太く表示されましたでしょうか？
この「」が「太くする」マークアップ記号となります。

マークアップ記号は、基本的に
<記号>~</記号> の形で記載し、その囲った中に影響を及ぼします。

他のページへ遷移する

他のページへ移動するには、<hr>というマークアップを使用します。
早速以下のようなコードを書いて、ブラウザで見てみましょう。

```
<a href="https://google.com">Link to Google</a>
```

表示された「Link to Google」をクリックすると、Googleへ遷移します。今回は外部のサイトを指定しましたが、内部サイトへのリンクも同じ使い方ができます。



HTMLに必要な共通情報

一番はじめにWebサイトのソースコードを見ましたが、画面には直接現れない、見慣れない箇所がコードのはじめの箇所に記載されていたかと思います。

次に、この記事を学習します。まずは以下のコードを書いてブラウザで表示しましょう。

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
  <meta charset="UTF-8">
  <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
  <meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="ie=edge">
  <title>タイトルを表示します。</title>
</head>
<body>
  Hello, World!
```

```
</body>
</html>
```

さて、一見一番初めに書いたHello, Worldと全く同じ内容が表示されていますね。



これだけ見ると、あまり意味がないのでは？とってしまうかもしれませんが、それ以外のところでとても意味を持てきます。簡単に、本当に重要な箇所だけ紹介します。

<!DOCTYPE html>

このファイルがHTMLファイルですよ、という宣言のために記載します。
必ず記載する必要がありますので、現状はおまじない程度と置いていただいて構いません。

<html lang="ja">

この<html>タグで囲った部分をHTMLのマークアップとして認識しますよ、という宣言です。

また、「lang="ja"」という記載が最重要で、このページは日本語を取り扱っています、という宣言をしています。

これがないと、日本語を正常に表示できなくなります。

<head>

この<head>タグで囲った部分は、ヘッダ情報を表します。ヘッダ情報とは、そのHTMLファイル内で共通の設定情報を保持するブロックで、ページの表示に関わる様々な情報を記載します。

<meta charset="UTF-8">

文字コードをUTF-8とするための記載です。特に、日本語を使用する場合には必ず指定してください。指定しない場合、ブラウザが文字コードが判別できずに文字化けを起こす可能性があります。

Windowsのみを対象としたWebサイトではShift-JISを指定することもありましたが、近年ではスマートフォンやMac、Linuxといった様々なOSが一般化したため、UTF-8を採用することが多くなりました。

<title>タイトルを表示します。</title>

そのページのタイトルを指定します。

例えば、タイトルはタブブラウザで表示したときにタブに表示されます。

表示イメージを見ると、タブの部分に「タイトルを表示します。」と表示されていることが確認できます。

<body>

<body>タグは、そのファイルの本文であることを表します。

表示内容に関するマークアップはこの<body>~</body>の間に記載します。

マークアップの入れ子構造

マークアップの特性上、内容をタグで囲んで行くため、大きければ大きいほど入れ子が深くなります。

そのため、可読性向上のため、一般的にはタグが入れ子になるたびにインデントを増やします。以下は書き方の一例です。

```
<tag1>
  <tag2>
    <tag4>Content<tag4>
    <tag5>Value</tag5>
  </tag2>
</tag1>
```